



# NPO☆Kyoken通信



新年号

特定非営利活動法人教育研究所(問題行動事務局)101号 平成23年1月25日発行

本部 〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20  
TEL:045-848-3761/FAX:045-848-3742  
URL:<http://kyoken.org/>

宇奈月自立塾 〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉5509-16  
TEL:0765-62-9681/FAX:0765-62-1120  
E-mail:[contact@kyoken.org](mailto:contact@kyoken.org)

新年あけましておめでとうございます。

今年も皆様方にとって幸せな年でありますように心からお祈りいたしております。

1月に入り、宇奈月自立塾は毎日のように雪が降っては積もり、塾生・スタッフ全員で塾周辺の雪かきを行っています。そんな厳しい宇奈月の冬ですが、塾正面から見える山々は美しく雪化粧をほどこし、とても綺麗な冬景色を毎日、眺めることができます。トロッコ電車は走っていませんが、冬の雪の温泉街は清いほどに真っ白で、真っ白い息を吐きながら歩くと心まで透き通るほど白く美しくなるような感じがいたします。

一昨年は行政刷新会議の「事業仕分け」によって、若者自立塾が廃止となり、廃止となった若者自立塾にかわって、基金訓練・合宿型若者自立プログラム科がスタートしました。

ニート・ひきこもりの若者が自信と元気を取り戻し、社会復帰をして未来を支える若者へと導いていた合宿型若者自立プログラム科ですが、昨年度末の再事業仕分けによって廃止が決定しました。

次回、合宿型若者自立プログラム科は3月29日開始を予定しております。3月29日開始予定のものが合宿型若者自立プログラム科、最後の訓練になる可能性があります。(可能ならば、6月中旬開始予定の合宿型若者自立プログラム科を申請しようと思っておりますが、まだ予定は未定です。)合宿型若者自立プログラム科を受講希望の方はお気軽に宇奈月自立塾または横浜本部にお問い合わせください。

## ☆お知らせ☆

### 教研の海外留学シリーズとしてのカナダ留学プラン好評。

参加希望者が続々増えて来ました。このプランは5年も10年も温め、地味に実行していたプランが漸く花が咲き始めました。不登校やひきこもりについて、牟田所長が研修した現地法人のウェストコーストインターナショナル社が留学後も、必要に応じ、所長のスーパーバイズのもと、細かく現地スタッフが世話をします。教研との連携と必要に応じ所長とのカウンセリングもできる安心感からバンクーバーにある同社の留学プランを希望する学生が増加しています。現在、留学下見旅行を3月に計画しています。参加希望者は2月10日まで受付を行っています。

また、1月7日に読売新聞で大きく取り上げられた記事(外こもり)にあります現地(タイバンコク)語学留学学校も長年所長と個人的に同じ協力関係がある学校です。その関係でタイバンコク留学見学ツアーも計画中です。是非、参加してみませんか。カナダ、タイ海外留学(語学学校、高校、大学、テニススクールなど)終了後海外で働くことも可能です。正式雇用も可能です。(詳しくは別のパンフレットを準備中です。ご請求ください)



# 新年の挨拶

牟田武生

新年明けましておめでとうございます。

今年は皆様方にとって、素晴らしい一年間になるよう心からお祈り申し上げます。

新年の始まりは希望がもてる話にしたいと思っておりますが、また、暗い話で恐縮しますが、お付き合いください。最後に明るい話もあります。

## 政府の「ニート・ひきこもり支援事業」は後退！

昨年、12月24日に来年度の予算が閣議決定しました。残念ながら緊急人材育成支援事業、基金訓練、合宿型若者自立プログラムは予算の中に組み込まれず、今年度3月末を持って廃止になります。

これは平成21年11月11日、民主党行政刷新会議において、必要性は認めるが対費用効果が薄いということでニート支援事業の「若者自立塾」は廃止決定がなされました。厚生労働省はそれを受け、既存のスキームである基金訓練を利用し、「合宿型若者自立プログラム」として、甦ることが一時的にできました。このプログラムは一定の条件が整えば、訓練費及び宿泊代が国の負担で行うことができるため、若者自立塾時代には利用できなかった低所得世帯の方々も利用でき、12月スタートのプログラムでは定員オーバーの応募があり、利用者も増えているところでした。また、就業率においても若者自立塾時代の6割を超える水準でした。しかし、与党から見ると、ゾンビのように甦った事業とみられ再度、年末の事業仕分けによって廃止が決定しました

NPO教育研究所としては、基金訓練を使った合宿型プログラムは現在募集中の3月29日開始予定と不確定要素の高い6月中旬スタート予定のもので終了致します。緊急人材育成支援事業、基金訓練は自民党時代麻生内閣の時に、雇用の第二のセフティーネットとして作られましたが、民主党はこれを「求職者支援制度」として、法律化して国会で法案が成立次第、一般財源で行う予定です。

これ自体は正規就労がなかなかできずに苦悩する一般の若者のためには、非常に良いこと考えられますが、求職者支援制度は「就職活動に直決するものに絞り込むべきである」とし、生活指導や生活訓練が含まれず、それらが不十分なニートの若者には十分な制度にはなりません。国会議員や識者はニートに対しては「ニート支援スキーム」を別に作るべきであるという意見もありますが、正式なことは、まだ、議論の遡上には乗っていません。

このような事情なので、暫定的にはNPO教育研究所では4月以降申し込み開始の基金訓練(国負担)は通所型の中に、必要な人には生活寮を提供していくプログラムを展開して行きたいと考えております。

## 仲間に出会えた☆ 前向きになれた♪

# ♪♪僕たちの私たちの宇奈月生活♪♪

6月開始で終わってしまう合宿型若者自立プログラム科ですが、宇奈月自立塾はまだまだ終わりません！宇奈月自立塾には、合宿型若者自立プログラム科の訓練生の他に、若者自立塾OB、プレ入塾生などたくさんの愉快的な仲間達があり、秋には高卒認定試験受験のための勉強合宿にきている人もいました。そんな仲間達に宇奈月自立塾の生活はどんな感じなのか聞いてみました！

### ① みんなの出身はどこですか？

- ・ 富山県・茨城県・京都府・群馬県・新潟県・東京都・神奈川県・大阪府・愛知県

全国、様々な県から入塾してきています(\*'-\*)ノ

### ② 宇奈月自立塾をどのようにして知りましたか？

- ・ インターネットを見て。教育研究所のHPにアクセスして。
- ・ テレビで事業仕分けの特集をしていた時、合宿型若者自立プログラム科が紹介されていたのを家族が見ていて「廃止になる前に今のうちにいって見ないか？」と勧められて知った。
- ・ 親から勧められて知った。
- ・ ハローワークの掲示板に貼られていた合宿型若者自立プログラム科の募集を見て。
- ・ 親戚から合宿型若者自立プログラム科の受講を勧められて。
- ・ 親が持ってきた宇奈月自立塾の紹介のDVDを見て。

教育研究所HPにアクセスして宇奈月自立塾の存在を知った人が多数でした。  
インターネットの時代を感じました！

### ③ 宇奈月自立塾に入塾しようと思ったきっかけは何ですか？

- ・ 親からすすめられて。
- ・ 宇奈月自立塾について問い合わせのメール後、見学を兼ねて一泊させて頂き、その際に相談をしたり、雰囲気を見て。
- ・ 年齢などを考えて、何かをしなければと焦りがあったため。
- ・ 今のままでは自分がダメだと思ったから。
- ・ 就労体験ができるから。

一人一人、入塾のきっかけが違う分、悩みも一人一人違います。

④ 見学や面接の時の塾の印象、雰囲気は？

- ・ 普通。
- ・ 寮生活と聞いて厳しい規則があるのかと思ったら、自由な雰囲気だと思った。
- ・ 緊張していてよく覚えていない。
- ・ 寮長をはじめ、スタッフの皆さんが親切で優しそうだった。
- ・ とにかく緊張していてびびっていた。

見学の時はみんな緊張したみたいです(´\_`;) )

⑤ 塾の温泉はどうですか？

- ・ 超最高！
- ・ 時々熱いです。
- ・ 時々、温度が低い時もあるが、とても気持ち良く、リラックスでき、お肌にも良いです。
- ・ 常時入れるのが嬉しい。
- ・ 広い、でかい。

塾の温泉は天然温泉かけ流し 100%！毎日常時入れるなんてすごい贅沢♪(´▽`)

⑤ 塾の生活に慣れましたか？

- ・ 慣れた。友達もできた。
- ・ 冬は寒い。
- ・ 最初の頃は大変でしたが、今では大分慣れてきました。
- ・ 1か月頃から慣れてきて、3か月经った頃はとても慣れた。
- ・ まだあまり慣れていない。

最初はみんな、はじめての共同生活のためなかなか慣れない様子。だけど、しばらく経つと友達や話をする仲間ができて、楽しい生活を送っているようです(\*´▽`\*)

⑥ 塾で共同生活をしていて、楽しいこと、嬉しいことはどういったことですか？

- ・ いつも誰かが「そばにいてくれること」がとてもありがたいことだと思い、実感している。
- ・ 男女関係なしで友達がたくさんできた。
- ・ 調理実習や運動、清掃など色々な事をみんなで共同作業できること。
- ・ みんなと一緒にご飯を食べられること。

- ・ 世代、性別、環境などを超えて、様々な人と一緒に住めるところ。
- ・ 家ではできなかったことが色々できる所。
- ・ 仲間がいるからできることがあるところ。
- ・ 誰かと話ができるのが嬉しいし楽しい。
- ・ 仲間と話をしたり同じ楽しみを見つけた時。

一緒に暮らしているから仲間ができやすい。同じものを食べ、同じ屋根の下で過ごし、悩みを抱えつつも共通の目標(社会復帰)に向けて一緒に頑張る仲間は共同生活ならではの仲間です(^0^)/

⑦ 塾で共同生活をしていて、辛い事、不便なことはどういったことですか？

- ・ 共同生活であるため、周りに気をつかわなくてはいけない点。
- ・ 特になし。
- ・ 世代、性別、環境が違うゆえに、人間関係が難しいと思う時がある。だが、それも、良い経験になっている。
- ・ 協同作業が基本なので、マイペースに動けない時がたまに辛い。
- ・ コンビニや駅に行くまで塾に坂道があるため、それが大変。
- ・ 今まで当たり前だった「一人きり」が辛くなったこと。だから、部屋に一人でいると、ふいに気持ちが重くなる。
- ・ 一人だとヒマ。

一人一人、辛さ苦しさは違いますが、数か月の共同生活を頑張っしてほしいです(\*´-`\*)

⑧ 入塾して現在、自分が変わった、成長したと思ったところがありますか？

- ・ 自分ではわからない。
- ・ 早寝、早起きができるようになった。
- ・ 気持ちが前向きになった。
- ・ 人に対して寛大になりつつあること。
- ・ 人との関わりが前ほど苦痛ではなくなったこと。
- ・ 色々な方面で積極的になった。
- ・ 人見知りがなくなってきたと思う点。
- ・ 自分の素が出せるようになってきたと思う。
- ・ 今の所ないと思う。
- ・ 色々な人との接し方が学べた。

人と関わることで人は変わっていきます。数か月の合宿生活でたくさんを経験して、たくさんを学んでほしいです。

⑨ 入塾して良かったと思いますか？また、どうして入塾して良かったと思いますか？

- ・ 色々な人と会えたから。
- ・ 良かった。就労体験とかで色々な仕事を体験してみて、少しは自信がついたから。
- ・ 仲間ができたし、将来のことについて色々考えるようになったから。
- ・ 一人だったらずっと怖くて動けなかったことが、スタッフや塾のみんな、地域の方々に支えられて、行動に移すチャンスを受けて自分が変わりつつあるから。
- ・ 自分より年上の人達と友達になることが楽しいとわかったから。
- ・ 自分を変えることができるかもしれないと思えるようになったのは、入塾して色々なことを考えるようになってからなので、入塾して良かったと思う。

「小さな一歩は大きな一歩！」一歩を踏み出したら人生は大きく変わります。

#### ⑩ 宇奈月で生活していてどうですか？

- ・ 都会の出身ではないので特別不便には感じない。
- ・ 生活必需品を帰る場所(スーパー等)が近くにないのが厳しいが、自然に囲まれ、ゆったりしていて良いと思う。
- ・ 車がないとスーパーに行けないなど不便な点が多い。
- ・ 秋の紅葉がすごく綺麗だった。
- ・ 良いところだと思う。
- ・ 一人だとヒマ。みんなと一緒にだと楽しい。

田舎にあるので不便さを感じている人が多い様子。不便ですが電車は通っていますので、電車に乗れば出かけることはできます。

#### ⑪ 就労体験先ではどのような業種の体験を経験し、何をしましたか？

- ・ 四十物昆布にて。箱折り、シール貼り等の軽作業
- ・ 新川育成牧場にて。牛舎の掃除、たい肥の袋詰め、牛にミルクをあげる等
- ・ ホテル清掃で客室の清掃、片付け、館内の清掃など。
- ・ 宇奈月麦酒館のレストランにてウエイトレス業務、清掃など。
- ・ ニューオータニホテルにて、大浴場の清掃、ベッドメイキング、厨房の食器洗い等。
- ・ 宇奈月ビール工場にて、缶ビールの底に賞味期限のシール貼る、空缶の清掃等。
- ・ 宇奈月ゴルフ工房にてゴルフクラブ製作。

宇奈月自立塾では様々な職種の仕事の体験ができます。色々な仕事を経験してたくさんのことを学んでほしいです。

⑫ 就労体験先で学んだこと、感じたことはありますか？

- ・ 四十物昆布さんでは箱の折り方を学び、宇奈月麦酒館の仕事では、製造の仕事、ウエイトレスの仕事を学んだ。体験先の方々はみんな優しく良い方ばかりでした。
- ・ 何でも一生懸命、前向きに、真剣に、そして、楽しんでやることの大切さ。
- ・ 各職場によって、雰囲気やカラー、仕事の質、求められることの違いを知ることができ、為になった。
- ・ 経営する側から見て、雇いたいと思われるような動きがどんなものであり、それが実際に自分にできるのかを学ぶことができ、非常に勉強になった。
- ・

⑬ 現在、興味のある仕事はありますか？

- ・ まだよくわからない。
- ・ パソコン関係
- ・ 企画関係
- ・ 鉄道会社
- ・ 旅行会社
- ・ 福祉関係での専門的職業
- ・ 車の整備工
- ・ 老人福祉(色々言われているが、これからもっと必要されると思うから。)
- ・ 農林水産業

卒業後、全ての塾生が社会復帰をして就職できることを願っています。

⑭ その他、何かありましたらお願いします。

- ・ 様々な世代の人がいるため、年上の人達と友達になることで、社会にでて大切な年上の人達とのコミュニケーションを学ぶことができ良かった。
- ・ 自分がずっと恐れていたものが、実際にはそんなものではなく、単に自分自身は造り上げた勝手な虚像であったこと。そして、それは一歩を踏み出せば、もろく壊れゆくものであるということ。そんな事、ここへ来る手始めの最初のハローワークに行った時から気付かせてもらった。とても苦手で避けていたものこそが今の自分を支えて成長させてくれるものであると、塾の生活を通して気づかせてもらっている。塾にきて、みんなに出逢えて感謝しています。

塾生のみなさん、ありがとうございました(\*´▽`)

連載第二回目

# 『冬彦の挑戦』ひきこもりから卒業するぞ！

体験入塾 前日編

## 前回までのあらすじ

人間関係のつまずきと趣味のゲームに熱中し、高校を中退後、オンラインゲーム三昧のひきこもり生活を 10 年近くおくる冬彦。そんな冬彦に母子共依存気味なお母さんは冬彦がゲームの世界から脱出してなんとか社会復帰をしてほしいと思い、冬彦を宇奈月自立塾の見学につれていった。

お母さんの思いとは違い、宇奈月自立塾どころか現実社会にも興味のない冬彦。自分の居場所はゲームの世界だけだと思っていた冬彦だが、宇奈月自立塾で訓練を受けている塾生、卒業後、塾に住みながら働きにでてい OB に出会い、何かを感じ、考え、体験入塾を希望する。

## 登場人物



**冬彦（28歳）**  
オンラインゲームに三昧なひきこもり生活を送っていたが、前回の見学後、体験入塾を希望。



**お父さん。**  
一流商社に勤めるエリートサラリーマン。仕事人間で冬彦に厳しい。冬彦にとって恐怖の存在。



**お母さん。**  
冬彦と母子共依存気味なお母さん。冬彦が体験入塾を希望したことをとても喜んでいる。



## 体験入塾前日 横浜の自宅にて



「冬ちゃん、ただいま。塾で生活するのに必要なもの買って来たわよ。ふう…。こんなにたくさんの荷物を持って電車に乗り降りするのは大変だったわ。やっぱり、お父さんがいる時にお父さんに車で一緒に買い物に行ってもらったわ。」



「たかだか一週間で体験入塾するだけなのに、すごい量の買い物だな…。こんなにいらないよ…。  
さてはお前、俺を体験入塾させた後、俺をそのまま塾にとじこめるべきだろ！俺はあんなところはずっ  
といるのはごめんだ！！」



「冬ちゃん、あなたを宇奈月にずっと預けるわけじゃないの。そうじゃなくて、あなた、着るものといえば、  
ボロボロのジャージぐらいしかないでしょ？ずっと、エアコンの効いた部屋に閉じこもっているから、防  
寒着とかも持っていないし。たかだか一週間というけれど、その一週間、外で生活する日用品、衣類  
がないのよ。だから、こんなに買い物の量があるのよ…。」



「……………」(何も言わずにお母さんが買ったものを見る冬彦)



「まず、ジャンパー。冬の宇奈月は寒いからジャンパーは必需品よ。あと、手袋に帽子。  
それと…これも…あれも…。」



「あなたの好みかわからないから、色々を買ってきたわよ。」



「…うるせえ。他には何買ったんだよ。」



「あとは靴下に、下着に…ハブラシ、歯磨き粉、お風呂セット…。ええと、共同生活だから、洗濯した  
時に、靴下とか冬ちゃんのか他の塾生の子のなのかわからなくなるから、名前をマジックで書いたほう  
がいいわね。ええと…マジック…マジックはどこかしら？」



「だせえことすんじゃねえ！だいたい、洗濯物は各部屋の空きスペースで干すって、見学の時に行って  
たじゃねえかよ！部屋で干すんだから、名前なんか書かなくてもなくさねえよ！」



「冬ちゃんが困ると思うから…。ちゃんと書いとくわ。」



「勝手にしろ！俺はネトゲで忙しいんだ！俺がいかなかったらみんな死んでしまうんだ！」  
(といて、部屋に戻る冬彦。お母さんは冬彦の持ち物に一つ一つ丁寧に名前をかきはじめる。)

## そして、出発前日の夜



「ねえ、お父さん。明日、冬彦が宇奈月自立塾に体験入塾へ行くの。」



「そういやそんな事を言っていたな。明日か。まあ、塾にでもいけば少しは変わるだろう。」



「それでね、お願いがあるんだけど。明日は日曜日だからお父さんお仕事休みでしょ？冬ちゃんを宇奈  
月まで車で送ってくださらない？私も明日はパートだったけれど、お休みをいただいたの。一緒に冬彦  
を宇奈月まで送りましょう。」



「何を言っているんだ！だいたい、横浜から宇奈月までどれだけの距離があると思ってるんだ！俺は仕事で疲れているんだ！明日だって、残った仕事をしに会社へ休日出勤しにしなければいけない。あいつももう28歳だ！電車なり高速バスなり好きな方法で一人でいかせろ！」



「でも、一人だとあの子、心細いと思うのよ。冬ちゃんが遠い宇奈月を一人で預けるとなると私、心配で仕方ないの。それに、荷物だってたくさんあるのよ。」



「荷物なんて宅急便で送ればいいだろ！だいたい、お前が冬彦を甘やかすからあいつはいつまでも自立できないんだ！冬彦がどうしても自分でできないならお前がやれ！」



「まあ！お父さんは冬ちゃんのことを心配じゃないの！」



「あいつはもう大人だ！大人だから自分ことは自分でやるべきだ！くだらん！俺は疲れたからもう寝るぞ！」（そう言って、寝室へ行くお父さん。）



「あの人はいつもいつも仕事ばかりで…冬彦のことは全部私にまかせきりで…。」  
（お母さんはぶつぶつとお父さんの不満を言いながら、宅急便で荷物を送るため、宅配便業者に電話をかける。）



「冬ちゃん。」（トントンとノックをするが冬彦の返事はない。）  
「冬ちゃん。いるんでしょう？ドアを開けて。」



「うるせえな。今、大事なところなんだ。用があるなら鍵かけてねえから勝手に入れ。」  
（お母さんが冬彦の部屋に入る。冬彦はネットゲームの熱中し、パソコンから目を離さない。）



「冬ちゃん、明日、お父さんが車で送ることは無理なんだって。だからね、冬ちゃん一人で行かなければいけなくなったの。さっき、冬ちゃんの荷物を宅急便で送る手配をコンビニでした時、一緒に高速バスのチケットを予約してきたわ。」



「…行きたくねえ…。なんであんなとこにいかなきゃいけねえんだよ。やっぱやめた…。」



「冬ちゃん。ママを困らせないで…。あなたのためにも絶対に体験入塾に行った方がいいのよ。それに、体験入塾は冬ちゃんが行きたいって希望したじゃない。その時、ずっと、ゲームばかりしていた冬ちゃんがやっとゲーム以外のことに興味を持ってくれてとても嬉しかったのよ。一人で行くのが不安なのならバスの停留所は池袋だから、池袋駅までママと一緒に行きましょ。」



「うるせえ。俺は忙しいんだ…。お母さんにとって、ネトゲはわけのわからないものかもしれねえけど、俺にとって、ネトゲは世界なんだ。会ったことはないが友達もネトゲにはいる。俺からネトゲとったら何も残らねえんだよ…。俺が体験入塾なんかしたら、あいつらみんな困ってしまう。だから、俺はいかねえ。ここから動かねえ…。」



「冬ちゃん…。お願いだから…。あつ？お父さん」  
（それまで、ずっと無関心だったお父さんが冬彦の部屋に入る）

 「冬彦。あまりお母さんを困らせるな。お母さんはな、お前のことが心配で仕方ないんだ。お前の成長のためにも塾に行ってこい。それに、塾にいるのはたった1週間だ。たった一週間頑張ればいいだけだ。とりあえず、一週間だけ塾にいて、それからゲームのことやこれからのことを考えるんだ。」

 「……………」 (お父さんを怖がり、黙ってひたすら顔を下に向いている。)

 「冬彦。」 (下を向いた冬彦を決って怒らず、意思の強い瞳で冬彦の返事を待っている。)

 「冬ちゃん……。」

 「……………わかった。行くよ。一週間ぐらいだったら、俺がいなくてもあいつらなんとか大丈夫だろうし…。大丈夫じゃないかもしれないけれど…塾にはちゃんと明日いく。」  
(下を向きつつも、お父さんの目をチラッと見る。)

 「冬ちゃん！」

 「さっきもいったが、一週間後のことは一週間後に考えろ。お前はただ塾に行けばいい。考えすぎず、動いてみたら悪いと思っていたのが実は良いことだったなんてことがたくさんあるんだ。」

 「冬ちゃん、池袋駅まで一緒にいくわ。あなた一人じゃ不安だから…。」

 「(ムスっとした表情で)それぐらい一人で行ける。」

 「大丈夫だ。池袋駅ぐらい冬彦一人でいける。少しは冬彦を信じたらどうだ？」

 「あなたがそう言うのならば……。冬ちゃん、明日は気を付けて行ってね。一週間後、元気な顔をママに見せてね。」

 「ああ……。」

こうして、冬彦は次の日の昼過ぎ、富山へ向かう高速バスに乗って宇奈月自立塾に向かった。宇奈月自立塾についたのは夜の7時過ぎ。  
一週間の体験入塾は冬彦に何が待っているのか？  
次回、体験入塾編につづく。

## うなづき☆フォトギャラリー



宇奈月の冬は雪がとにかく降ります！積もります！みんなで協力して雪かきを行いました。



宇奈月温泉スキー場リフト係のアルバイトの様子です。みんな、しっかり頑張っていました。



雪が降る前、晴れた秋空の下で焼きイモをみんなで作り、食べました。美味しかったです♪



毎週木曜日の運動の時間に、体育館にてバレーボールを行いました。



塾では、食事の後、みんなで協力して、皿洗い等の食事の後片付けを行います。



## 教研理事にインタビュー

第二回目 理事 四十物直之社長

第一回目はNPO法人教育研究所理事の安藤建二社長にインタビューを、そして、今回は理事の四十物直之(あいものなおゆき)社長にインタビューを行ないました。

四十物社長は富山県黒部市生地にて、昆布・わかめ等の加工及び卸売販売を行なっていますが北前船の語り部として富山では有名人！日本のコンプ王としてマスコミにも多く登場しています。東京・横浜でも講演したり、商品の販売を行なっています。また、(株)四十物昆布の工場へは宇奈月自立塾が就労体験へ行っており、就労体験先としてご協力いただいております。

(1) 四十物社長が現在、経営されている会社、事業等は何でしょうか？

四十物社長：(株)四十物昆布を経営し、北海道の昆布をそのまま、もしくは加工して販売しています。

(2) 現在の事業をはじめた理由、きっかけなどをお願いいたします。

四十物社長：祖父が利尻島で水産品の商いを始め、その一部を引き継いだ父の昆布屋としての事業と、伯父のアドバイスを受け色々な可能性を感じ、継ごうと思ったのがきっかけです。

(3) (株)四十物昆布の商品アピールをお願いいたします。

四十物社長：北海道各地の質の良い昆布はもちろん、自社製造のとろろ昆布、メディアでたびたび取り上げていただいている焼きラウス昆布、健康食品として注目のがごめ昆布加工品が最近の売れ筋商品です。

(4) (株)四十物昆布の今後の展開をどう考えていらっしゃるのかをお願いいたします。

四十物社長：現在の顧客を大切にしていくことはもとより、インターネットはじめ、その他の媒体を通じ裾野を広げ、さらには世界に向けて展開していきたい。(1月22日～26日 フランス・リヨンで行われるSIRHA国際外食産業見本市に日本代表として参加、出展中です)

(5) 今後、教育研究所が発展していくためには、どのように展開していけばよいのか、経営者の目からみでのアドバイスをお願いいたします。

四十物社長：志を高く確り持つこと(何のために、誰のために)、運営イコール経営、収益事業を考えられたらいいと思います。日本社会に必要なNPO法人です。関係者の努力に敬意と感謝を申し上げます。

四十物社長、インタビューにお答えいただきありがとうございました！

(株)四十物昆布は商品販売を店舗販売以外にインターネット販売でも行っております。

(株)四十物昆布のHPアドレスは下記になります。

(株)四十物昆布 HP <http://www.aimono.com/>



# インターネットと意識調査

NPO法人教育研究所 久玉和昭

教育研究所では過去、横浜市、岡山市の不登校の実態調査をそれぞれの教育委員会との合同で行ったことがあるが、社会調査についてすこし考える。

社会調査は「国勢調査」に代表されるような悉皆(しっかい)調査と新聞社が「内閣支持率等」を調査する時に行うサンプリング調査に大きく分けることが出来る。もちろん他の調査方法もあるが基本的にはこの二つの調査方法に代表される。調査方法については詳しくは述べないが、郵送質問紙法か面接法(電話調査)をとる。最近ではインターネットでのアンケート調査の結果が色々なメディアで紹介されているのを見るが、学術的な信頼度としてはまだ認知されていない。これは様々な要因を含むが、やはりネットの匿名性が大きな要因だと考えられるであろう。つまり極論ではあるが、飛行機からアンケート票をばらまき、これを拾った人の中で答えられる人は近くの郵便ポストに投函してくださいというようなものである。

しかし膨大な集団に対して瞬時でデータが得られ、費用的にも従来の調査に比べはるかに安価なネット調査は今後重要な位置を占めて行くことになると思う。近年増加現象にある「ネット依存」の実態調査についてもネット利用者に対して直接インターネット上でアンケートを実施していく必要があると考えるが現時点ではやはり信頼度の問題で大きな壁がある。しかし、この問題も近いうちに解決されていくであろう。

教育研究所ではこの4月から「ネット依存」の調査を始める計画を立てているが「ネット依存」のなかでも「オンラインゲームによる依存」により様々な問題を周りに対して(あくまで周りに対してであり、本人に対してではない)与えている若者たちの意識調査を行いたいと考えている。WEB等の新しいツールの利用、ネット環境の問題など、従来の調査方法には無い新しい要素が必要になるが、教育研究所のOB達でインターネットに詳しい若者達に調査研究に参加してもらえそうであり非常に心強く思っている。教育研究所のノウハウと彼らたちの知識、技術、柔軟な思考で何とか山積した問題を解決し、「オンラインゲームによる依存」の実態が明らかになり一人でも多くの若者が依存状態から脱却し、これからの人生に果敢に挑戦してもらえればいいかなと思う。



# 僕らはお手伝い屋さん！

## 日常生活の雑用から家庭教師までなんでもお手伝いします。



### お仕事し隊！



日常生活の雑用から家庭教師、子守り、遊び相手まで、できることなら、なんでもお手伝いしちゃう！そんな、日常生活の助っ人をニート・ひきこもりの若者が行う「お仕事し隊(おしごとしたい)」という事業をおこします。現在準備を進めています。(ただし、黒部周辺の地域になります)

具体的には・・・

- ひとり暮らしのおとしよりのために -

- ・お掃除
- ・レンジ廻りのお掃除 (ピカピカにレンジとその廻りを磨きあげます。)
- ・風呂場の清掃 (バスタブも洗い場もきれいにします。)
- ・お部屋内の整理・整頓、大きな家具や家電製品の移動や据えつけ
- ・蔵などのかたづけや整理
- ・庭の草取り・小枝の整理
- ・その他雑用仕事
- ・急な時の留守番や店番
- ・お買い物
- ・高い所の窓拭きなど多少、危険が伴う簡単なお仕事

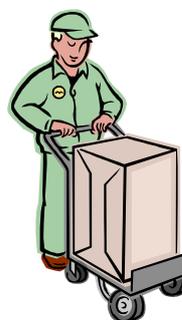


- 子どもたちのために -

- ・家庭教師
- ・子守り、遊び相手

- 会社や商店向けに -

- ・チラシ等の簡易印刷とポスティング等
- ・会社の引越しのお手伝い
- ・急で簡単な仕事を会社に出向いてお手伝い
- ・などなど、日常、仕事上の様々な事を手助けいたします！



また、職種によって時給は違いますが、労働訓練も兼ねていますので格安でお引き受けしたいと思います。

現在、「お仕事し隊」の隊員を募集しています！

塾を卒業したもののなかなか就職が決まらないOB等、ご相談ください。  
一緒にたくさんの人を手助けしながら、働こう (^o^)/

# 塾生の作文

## 宇奈月自立塾に入塾して

今までの家での生活は、大学を辞めた後は道路工事のアルバイトをしていました。7時に出社、家に帰るのは大体6時から7時くらいといった感じで、アルバイトがない日は家でパソコン等をいじるか友達と遊ぶ、たまにハローワーク等で職さがしといった生活でした。

宇奈月自立塾に来てからは、生活リズムが一定になり、団体生活に身をおいていけるか不安でした。が思っていたより、他の塾生とすぐに打ち解けることができたのでほっとしています。

これからは塾内でさらに交友関係を深めていくとともに、就労体験を通じて、就職へ向けての意識を高め、社会人として早く自立したいと思っています。

## 宇奈月自立塾に入って1か月を振り返って

自立塾に入ろうと思ったのは現状を変えて、いい加減自立しようと思ったからです。ハローワークに行き、色々自立塾の資料をもらって説明を受けた時は、まず、お風呂が温泉って聞いて、家族とも銭湯とかで一緒にお風呂に入りたくない私が温泉なんて入れるのかなあと迷ってました。それを友達に話したら、現状を変えたいのにお風呂が共同ってだけで迷っていたら、この先やっていけないよって怒られて、入ることを決めて、入塾してから最初、ここの人達とちゃんとやっていけるかなあって心配だったけれど、ここの人達はみんな優しく、もう慣れた？とか優しく声をかけてくれる人もいたりして何か安心しました。

はじめは話しかけられても上手に話せなくて、頷くだけで精一杯だったけど、段々慣れてきたら会話できるようになってきて、昔の私だったら慣れてても仲の良くない子とか苦手そうな子とは話せなかったけれど、ここでは一応、誰に話しかけられても話せるようになって、私も少しずつ変わってきているのかなあと思いました。家ではまったくしなかった洗濯もできるようになったし、パン作りとかアップルパイ作りも初めての体験だったし、散歩とかストレッチをするようになってからは、まったくなかった筋肉もつきはじめたし、にんにくの皮むきもここに来て初めてやったし、食欲も多分、家にいた時よりも確実にあって健康になってきているのがわかります。入ってもう1か月もたつけど、私自身はまだ何も変わっていないと思うけど、これからが少しずつ変わっていけたらなあと思います。ここに来て、色んな体験ができて、本当に嬉しく思っています。だから、早く働いて自立して親を安心させたいと思います。

# お知らせ

## ◇ NPO法人教育研究所 講演会予定 ◇

横浜 1月29日(土) ウィリング横浜 503号室

富山 2月13日(日) 富山県民会館 608号室

横浜 3月6日(日) ウィリング横浜

講演会は先着順となります。

詳細は講演会の日が近くになりましたら、HPにアップします。

## ◇ 理事長からのお知らせ ◇

- ◇ 平日だけでなく、月1回、土曜日に横浜本部にてカウンセリングを行っています。何週目の土曜日に行っているかはその月によって異なりますので、土曜日にカウンセリングご希望の方は横浜本部(TEL045-848-3761 e-mail contact@kyoken.org)にお問い合わせ下さい。
- ◆ 2月9日、朝8時15分～9時45分にNHKで放送される「あさイチ」に理事長が生出演します。内容は「ネット依存」についてです。

## ◇ 基金訓練講師 募集中！ ◇

宇奈月自立塾で実施している基金訓練の講師を募集しています。

合宿型若者自立プログラム科は3月29日開始のものと6月中旬開始予定のもので終了しますが、

基金訓練は合宿型若者自立プログラム科とは別の形で、続けていきたいと思っています。

基金訓練を続けるにあたって講師の方を募集しています。(特に、営業、企画、管理、教育関係の方を募集しています)

### ★募集内容

定年退職をされた方で1日3時間、週4日ほど働ける方。

講師料 時給1000円～

退職して余った時間をニート・ひきこもりの若者の社会復帰を手助けすることに活用しませんか？

一緒に未来ある若者を救いましょう！

お問い合わせは宇奈月自立塾(TEL 0765-62-9681)または横浜本部(045-848-3761)まで。

## グループカウンセリングのお知らせ

宇奈月、横浜でそれぞれグループカウンセリングを実施します。  
グループカウンセリングは7名前後の参加者とカウンセラーが行なう小集団のカウンセリングです。  
宇奈月、横浜とも牟田先生のグループカウンセリングです。  
日程、参加申し込みは下記の通りです。

### ◎ 日程

#### ・富山宇奈月(AHEビルカウンセリングルーム)

一回目…1月16日(日)に実施、終了いたしました。  
二回目…2月13日(日)に午前9時00分からAHEビル3階にて行います。  
三回目…今回はありません。

#### ・横浜(丸山台事務所)

4月から実施を予定しております。  
詳細が決まり次第、教研HP等にて日付をお知らせしたいと思っています。

### グループカウンセリング申込書

●加希望の方はFaxまたはメールでお申込み下さい

参加者氏名	
住所	〒
TEL	
Email	

グループカウンセリング費用 ¥9,000(¥3,000×3回) 会員の方は特典があります

E-mail [contact@kyoken.org](mailto:contact@kyoken.org)

FAX 045-848-3742(横浜)

FAX 0765-62-1120(宇奈月)

## NPO法人教育研究所の会員の申込についてのお知らせ

従来、会員の皆様には会費を年会費として一律5,000円お支払いいただいておりますが、平成21年1月から、1口5,000円としてお申し込みを頂いております。

教育研究所の運営の安定化のためにも、運営の母体となる年会費を皆様にご協力していただけるよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

会員の特典も新しく追加しておりますのでご検討いただければ幸いです。

- 会員の有効期間はお支払いいただいた時から、1年間の有効期間となります。
- 年会費

※ 1口¥5,000（1口増えるごとに¥5,000加算されます）

※ 銀行ご利用の場合は下記の口座にお支払いください。その場合は、必ずご自身のお名前を入れてください。よろしくお願い致します。

新しく会員の申込をされる方は、下記の申込書でご連絡ください。

会費納入口座は 北陸銀行 宇奈月支店（ホクリクギンコウ ウナヅキシテン）  
名 義 特定非営利活動法人教育研究所  
口座番号（普） 5014010

郵便振替 00230-9-112182 特定非営利活動法人教育研究所

特定非営利活動法人教育研究所会員の方には、

- カウンセリング料の割引 1万5千円→1万円
- 年5回程度の定期通信の発行
- 講演会などのイベントのお知らせ
- お母さんたちのミニ図書館の利用
- ・ 新特典
- グループカウンセリングの割引（1口につき1回無料）  
※ グループカウンセリングは年3回、横浜・宇奈月で実施します。
- 教育研究所温泉宿泊施設(AEHビル)をご家族で利用できます。（会員割引があります）  
.....

**新規入会申込書**（新しく会員になる方は郵送か FAX またはメールでご連絡ください）

（郵便振替でお申込みいただく方は必要ありません）

<b>入会者氏名</b>	
<b>住所</b>	〒

郵送先 〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20 Fax 045-848-3742

## お母さんたちの交流会のお知らせ

「毎月 5～6 人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせています。共通する悩みを持つもの同士、気軽な気持ちで、息抜きにでも参加して頂ければいいなと思っています。」  
(卒業生の母より)

- ・同時に親の会ミニ図書館を開催。
- ・会員の方ならどなたでも利用可。
- ・不登校やひきこもりに関する本や心理の本等が 300 冊以上あります。  
ぜひご利用下さい。予約の必要はありません。

毎月第4土曜日午後 1 時から 4 時頃まで  
NPO教育研究所横浜事務所にて。  
参加希望者は教育研究所までお願いします。



## 教研伝言板

継続して寄付を求めています。

専用寄付口座  
横浜銀行 上永谷支店  
店番号 323 口座番号 1442822  
名義人 特定非営利活動法人  
教育研究所 (寄付)理事長 牟田 武生

### ボランティア募集中

教科指導の補助出来る方(英語・数学・国語)  
カウンセリングやケースワークの臨床をしたい方  
高卒認程度の教科指導できる方。  
技術をお持ちの方で、定年退職をされ、  
その技術を若者に伝え、若者の自立支援に  
役立ちたい方

新年を迎え、平成 23 年になりました。  
去年の今頃は大雪が降り、毎日のように塾  
周辺の雪かきをみんなで行っていましたが、  
今年も去年と同じく大雪の年で、せっせとみ  
んなで除雪を行っています。

去年の夏は猛暑で、避暑地である宇奈月  
温泉もとても暑い夏でした。春と秋は異常  
気象のせい、例年より期間が短く感じまし  
た。

今年はどうな四季が待っているのか？  
自然豊かな宇奈月温泉は、四季の風景がと  
ても美しく、その年、その年の気候によっ  
て、塾の目の前に広がる風景が違います。

今はただ、寒い冬の日々を過ごしながら、  
桜の咲く季節を待っています。桜の咲く頃、  
今、塾にいる全ての塾生の進路が決まり、彼  
ら彼女らの心に満開の桜が咲いてほしいと  
願っています。